

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(6/7)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション 国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、川崎市)	3.8	4.5 進捗度 ・医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化に向けた取組件数 172% ・特区事業の実施によるライフイノベーション分野における経済効果 103% ・新たに展開された商品・サービスの創出件数 100% 等	3.1 財政支援等 ・地域イノベーション戦略支援プログラム ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・産業集積促進奨励金 等	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的順調に進んでいるように見受けられる。税制支援を活用できる事業について、来年度の投資促進税制の活用が広がることが期待される。 ・総合的なライフイノベーションの技術開発から社会実験、事業化の各段階の進展を分野を俯瞰して説明する工夫を期待する。 ・規制緩和によって何を具体的に実現することが必要なのかが明確でない。 ・事業の成果として、特区関連事業の就業者数とデータサイエンスの活用に取り組む事業数は重要であり、これらの指標が目標値に達するよう工夫が必要。